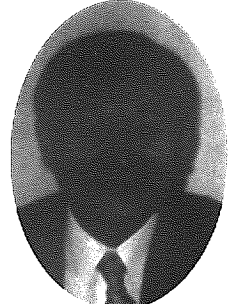


発行 小須戸町中央公民館
〒956-0101
新潟県中蒲原郡小須戸町
大字小須戸117番地
TEL (0250) 38-2234
FAX (0250) 38-3041
編集 公民館報編集委員会

2002年の中央公民館 力を入れた3つのこと



中央公民館長 佐藤 貞夫

ちょこっと一言 (169)

暖かくなって…
小須戸町に来て二年になりました。
まだまだ知らない道や場所もありますが、少しずつでも覚えて行けたらと思います。暖かくなって来たので、一歳の娘と外へ出かけるようになりました。
そんな時、気になったのが雪が溶けた後の道や田畑に、たくさんゴミが落ちていた事です。空



新栄町三 谷川 陽子さん

き缶、ペットボトル、ファーストフードの袋まで捨ててある事があります。
小須戸町の人だけが捨てたのではないでしょうけれど、これから、どんどん暖かくなります。もともと気持ちよく外で遊んだり、散歩したり、農作業したり出来るよう、みんなで、気を付けましょう。
せつかく、花や緑に力を入れている小須戸町なのです。道も田畑もゴミのないようにしたいものです。



今年度の中央公民館は、学校週五日制の実施も視野に入れて、社会教育と生涯学習の一層の推進を目指して次の三つの課題に取り組みます。
(1) 家庭教育学級の充実
(2) 学校週五日制への対応
(3) 講座・教室の充実と広がり
この取り組みに当たっては参加者の学習要求や実情に応じた計画・実施に努めます。

家庭教育学級の充実

—ふれあいの場を広げよう—
親と子、祖父母と孫が一緒に、楽しく活動しながら学び合う学級づくりを進めたいと考えています。

「明るい家庭づくり学級」

祖父母学級(祖父母と孫の学級)、思春期学級(中学生と親の学級)など、いくつかの学級構成が考えられます。
一緒にスポーツを楽しむとか、弁当づくりに挑戦してみたりなど、活動内容は参加者が話し合っ決めていきます。

「ひよこ学級」

本年度も内容を充実して開

設します。ボランティアの協力を得て、託児の充実も進めていきます。一層の広がりを期待しています。

学校週五日制への対応

—学習の場を充実させよう—
中央公民館社会教育事業として、これまで実施してきた内容を充実させることで対応しようと考えています。

「親子チャレンジ教室」

土曜日開設のこの教室は、五回から十回に回数を増やして楽しい内容を準備しました。

「お話のせいかいへ」

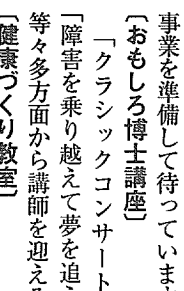
毎月第三土曜日、ボランティアの人達が読み聞かせをしてくれる楽しい会です。

「図書室の開放」

開館時間は同じですが、幼児・児童に喜ばれる図書も準備して、来館を待っています。

「わんぱくひろば」

公民館とふれあい会館で開きます。中学生の参加も期待できる内容を考えています。



「ヤング体験セミナー」

パラパラ、インターネットの他、青少年に喜ばれる新規事業を準備して待っています。

「おもしろ博士講座」

「クラシックコンサート」
「障害を乗り越えて夢を追う」
等々多方面から講師を迎える。

「健康づくり教室」

山里を歩く「歩きま専科」
スポンジボールを打ち合う軽いスポーツの「スポレック」
体も心もリフレッシュできます。

地域、再発見

愛をまるめた「味噌玉」づくり

大豆を煮てつぶし、玉状にした「味噌玉」。これをわらでつるして乾燥させ樽に仕込んで味噌をつくる昔ながらの作り方を矢代田第五の保科秀二さんが現在も続けています。
「恐らく私が生きていた期間だけでしょ。おれ一代で終わるおね。これは…(味噌玉づくり)」と保科さんはなんともいえない表情で話された。
「二十年前位は近所のどの家でもやっていたが、ごく最近なんだわ、下げなくなったのは」そして小須戸町でも長く続いていた味噌玉づくりがいつしか味噌玉の姿が見えなくなっていたそうなんです。
味噌玉づくりがなくなった原因としては食生活の多様化や生活が豊かになり手間をかけて作らなくても簡単に市販の味噌が購入出来るようになったこと等が、挙げられます。友達等に分けると、「おいしい」とか「やっぱり、違うねえ」と喜ばれるそうです。
「町で一番おいしい味噌を食べていると思いませんか」との質問に、「三年目の味噌なんです、どこに行っても売っていないわね。」と、味噌作りに、すごいこだわりを持っていることを感じました。

いろいろな達人が語る、味のあるお話を……



今年度も、運営審議会、館報・図書両委員会、そして分館と文化協会の役員の方々の一層のご支援をいただいて課題に取り組みします。
広く町民各位の益々のご協力を切にお願いいたします。

おらが地区の行事紹介

早春に三つの行事(竜玄地区)

竜玄地区では毎年三月中旬に、昔から続いている三つの行事があります。

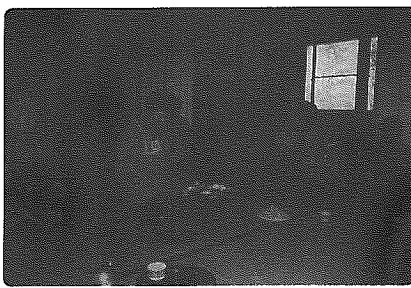
まず三月十日に、同地区にある仙人海寺で大勢を集め、お釈迦様の「団子まき」が行われました。

次に三月十三日には集落センターで「古峰神社のお札の授与」が盛大に行われました。

この行事は八十年前から続いており毎年、栃木県鹿沼市にある古峰神社という火災予防や火を防ぐ神様に地区の住民が交代で直接お参りに行き、世帯数分のお札をもらって来て地区住民が待つ、研修センターでそのお札を配りました。

そのお陰か同地区では火事を出したことはないそうです。最後に三月十七日に「権現講」が、集落センターで行われました。地区の住民が集まって、みんなで参りの後にご馳走を食べるのです。

なぜ同地区でわずか八日間、三つも伝統行事があるのか.....



一膳のお膳を回してみんなで食べます(権現講より)

全国大会の結果

◎お見事!!全国大会で第五位

第二十四回全国高等学校柔道選手権大会が三月二十日に東京武道館で開催されました。女子48kg級で田沢宏美選手(矢代田第八)新潟第一高校二



田沢宏美さん

年が、新潟県代表で出場し本県では唯一、ベスト8まで勝ち上がりました。今後、各種大会での活躍を期待します。

◎全国高等学校選抜バドミントン大会

開催日 三月二十四日～二十六日
開催地 長崎県長崎市
結果は次のとおりです。
▽団体戦(学校対抗)
小須戸中学校出身者同志で、ダブルスのペアとして頑張る予選リーグは一勝一敗でした。



川村朋子さん(若葉町3) 高校1年生



高野利子さん(蔵町3) 高校2年生

参加者募集

◎町民登山のおさそい

日本一、小さい山脈といわれる御形山脈(中条町)へ登ろう。
日時 四月二十八日(日)
集合時間 午前七時に中央公民館前
参加費 二十円
定員 二十五名
申込締切 四月二十日までに
申込み 中央公民館 ☎38-2234
風間電気 ☎38-2207
渡辺商店 ☎38-2417
木村茶店 ☎38-2045
に用意してある申込書に参加費をそえて

◎健康ラジオ体操のおさそい

健康はみんなの幸福。健康は自分で作りましょう。子どもから大人まで、どなたでもご参加ください。
期間 五月から十月までの、毎週日曜日
時間 朝六時二十分～七時まで
会場 信濃川親水緑地公園
内容 ストレッチ、ラジオ体操
※雨天の場合は中止。
主催 山岳キャンプ協会
健康はみんなの幸福。健康は自分で作りましょう。子どもから大人まで、どなたでもご参加ください。

◎全日本中学生バドミントン選手権大会

開催日 三月二十六日～二十八日
開催地 熊本県玉名市
結果は次のとおりです。
▽都道府県対抗団体戦
女子のエースとして、予選リーグに二試合ともシングルと混合ダブルスに起用してもらいましたが、四試合とも敗けてしまいました。しかし今後のいい勉強になりました。



高野利子さん(蔵町3) 中学2年生

五月から始まる公民館主催の教室・講座ご案内

◎乳幼児家庭教育学級「ひよこ学級」

子どものしつけや、家庭生活に関することを学びながら仲間づくりをしてみませんか。
日時 五月から毎月第三水曜日 午前十時～十一時半
会場 中央公民館 その他
対象 ○歳～六歳の子の保護者
主なプログラム 表Iの通り

月/日	内容
5月15日(水)	開級式
6月18日(火)	町内施設巡り
8月7日(水)	プールで水遊び
9月18日(水)	虫歯予防を考える
11月20日(水)	子育てセミナーⅠ
12月18日(水)	子育てセミナーⅡ

◎初心者短歌教室

初心者大歓迎。三十一文字にあなただけの思いを...
日時 五月二十一日(火)～毎月第一火曜日(三月まで) 午後七時半～九時半
会場 中央公民館二階学習室
対象 一般成人(定員二十名) 年会費 千円(テキスト代)
講師 仙田善雄氏(新津市在住) 県歌人クラブ会長
・コスモス短歌会同人
申込み 五月十日(金)までに。公民館 ☎38-2234

◎「おもいろ工作教室」

マト抜きゲーム「ディスクランチヤー」を作りますよ。
日時 五月十一日(土)
午前九時～十一時半
会場 白根地区理科教育センター
対象 白根市・小須戸町の児童、生徒(低学年は保護者同伴)
定員 三十名(先着順)
持ち物 牛乳パック(1リットル)、二個、針金ハンガー、三本
参加費 無料
申込受付 四月十九日～二十六日
受付時間 午前九時～午後五時
問合せ 理科センター ☎025-372-2924

◎おはなしのせかいへ(絵本の読み聞かせ)

日時 五月十八日(土) 午前十時～十時半
会場 中央公民館二階和室
対象 幼児から大人まで
読み手 おはなしほけつと
主催 中央公民館



子ども達の表情が楽しみです

◎「陶芸教室」

初心者歓迎します。入会随時。活動日 毎月、第二、四水曜日
時間 午後七時～九時
会場 町陶芸場(大川前四)
講師 押味修先生(陶芸家)
会費 月額二千元
主幹 押味会(陶芸団体)
申込先 公民館 ☎38-2234

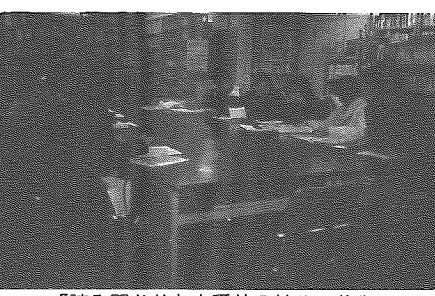
文芸欄

春寒や蔵に味噌樽 醬油樽 坂井隆思
何時も逢う散歩の犬や日脚伸び 田中美根子
かがやいて来ぬ明け方の春の月 中野太浪
料峭や友の柩は橋越えて 佐久間久子
猫丸く控へてをりぬ君子蘭 丸山虚秋
春眠や五分遅れの掛時計 吉沢文子
犬小屋に猫が寝てをり春隣 丸山栄子
母の齢こえて健やか福寿草 八木稲子
水温む夢心地なる島の影 東樹ちよ
忙しさお互い様の共稼ぎ 我妻清作
忙しく働く母に光る汗 増井都留
遣り繰りに追われて忙わしない財布 高橋ただし
忙しさ性に合ってる老いの独楽 保科志枝

シリーズ 「今、子どもたちは」 (67)

親子で 「おはなしのせかいへ」

公民館で毎月一回の読み聞かせを始めてから、一年半になります。
絵本やおはなしを聞きに来る子ども達は、絵本や語り手をじっと見つめ聞き入り、おもしろい時には笑い、テレビやビデオと違う楽しさを感じているようです。
子ども達の本離れが心配される中で、子ども達が素敵な本と出合える場を作り、本の楽しさを知ってもらえたらと思っています。
お父さん、お母さんも、お子さんと一緒に、昔話や絵本を楽しんでみませんか? そして、時には、家族でお出



「読み聞かせ」本番前のリハーサル